

講習指導名	雪上訓練 上郷タクシー、つくば交通合同			作成日	2021年2月8日		
日時	2021年2月7日	7:00	～	17:00	作成者(回覧時戻り)	管理	
場所	五色沼駐車場付近						
テーマ	雪上訓練 雪道走行、チェーン着脱		資料	ブリヂストン研修DVD			
講師							
出席者 および回 覧範囲	管理	1名					確認印
	乗務員	8名					委員長
詳細	<p>1.雪道走行時の注意点について</p> <p>*路面状況 新雪…柔らかい雪質として常に路面に覆い被さる。</p> <p>圧雪…雪が踏み固まった状態で走りやすいが、下にアイスバーンが隠れていることもある。</p> <p>シャーベット…水分を多く含んだシャーベット状雪路のため走りにくい。</p> <p>アイスバーン…摩擦抵抗が小さく大変滑りやすい。</p> <p>*路面による運転上の留意点</p> <p>新雪…雪を踏みしめながらスピンをさせず進む。</p> <p>圧雪…轍ができやすくハンドルがとられやすい。</p> <p>シャーベット…下にアイスバーンが隠れている場合があり、思いがけずスリップする場合有。</p> <p>シャーベットのまま凍結すると凹凸の氷塊となりハンドルがとられやすくなる。</p> <p>アイスバーン…タイヤへの負荷が大きかったり、速度が高いほど滑りやすくなる。</p>						
備考							

講習指導名	雪上訓練 上郷タクシー、つくば交通合同	日時	2021年2月8日
詳細	急制動や、回転数の急激な変化は禁物。できるだけ一定速度を保ち、 タイヤを確実に転がしながら進む。		
	2.氷雪路の安全走行のポイント		
	発進時…エンジン回転数は一気に上げず駆動時のピークの直前を利用		
	停止時…ブレーキは早め、ソフトに。タイヤをロックさせない		
	下り坂…路面状況に合わせてエンジンプレーキと排気ブレーキをうまく活用する タイヤがロックしたらブレーキをゆるめ、再度ソフトブレーキを		
	登り坂…同回転数を保ち、止まらずに登る。やむを得ず停車する場合は、勾配の緩やかな場所や駆動輪タイヤが雪をかめる場所で。 タイヤを空転させてしまった場合、一旦バックし、雪をよく噛む場所から再発進		
	コーナリング…コーナー手前で十分に減速、急制動は禁物。下りコーナーはエンジンプレーキ 適切に使う		
	路面を予測して、以下に注意		
	…日没後は、路面が急に凍結しやすい。凍結路に日が当たると、氷の表面に水膜が でき滑りやすい。橋の上は道路の下からも冷やされ早く凍結する。		
	信号、踏切の手前は発進や停止が多く、つるつる凍結路面になりやすい。		
	降雪の多かった後は、路面が凍結と新雪の二重構造になりやすい。		
			